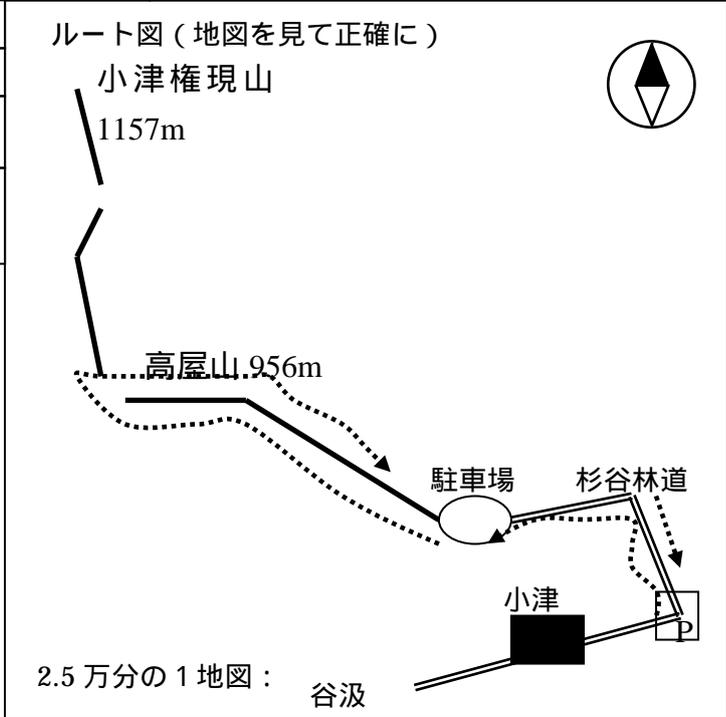


2 月度 <b>例会</b> <b>山行報告書</b>		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL : 中山 正夫
2 月度 <b>個人</b> <b>山行報告書</b>		報告日	3 / 10		
山 域	奥美濃	山行日	10年2月20日(土)		
山 名	小津権現山				

山行目的	バイク単独でワカン登山	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------------	------------------

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者



2/20(土)雪のち 晴れ  
05:30 自宅発  
豊田東 IC 大垣 IC 揖斐川町 小津  
07:50 杉谷林道入口着  
08:05 林道発  
09:10 終点駐車場着  
09:20 駐車場発  
10:00~:20 休憩  
11:10~:20 休憩  
12:20 高屋山(956m)着  
12:30 高屋山発  
13:20~:30 駐車場休憩  
14:05 林道入口着  
久瀬 谷汲 本巣市  
小牧 IC 岡崎 IC  
16:30 自宅着



杉谷林道より

山行報告 2/20(土)5:30 自宅発で豊田東 IC 大垣 IC 揖斐川町(旧久瀬村)へ向かうが、小津へ入るトンネルを越えてから雪が道路に積もりだしバイクでチェーンなどないのでゆっくり、小津の集落を通り抜ける、林道入口着 7:50。降りしきるばたん雪の中で、合羽とスパッツを付けて歩き始める。新雪のため坪足で20cmくらいもぐる。沢沿いから大きくカーブした林道を詰めて、林道終点の駐車場に着く 9:10。一面の雪で誰もいない。この大雪でも行くか少し悩む、結局ワカンを履いて行ける所まで行くと決める。最初は樹間の登山道には、かすかに雪面が凹んだ古い踏み跡があり順調に登れたが、顕著な尾根の中間あたりから、傾斜がキツくなって踏み跡不明。枝尾根に入り込まないようにひたすら高い所を歩く。ワカンでも膝までもぐり、時々踏み抜いて片足が埋まり、引き抜くたびに体力を消耗していく。2 回休憩した後に、パテパテでようやく高屋山まで来たのが限界だった 12:20。はるかなり小津権現、「またくるぞー!!」と一声叫び、この次はきっと頂上まで行ってやると心に誓いながら、自分のつけたトレース踏んでをバイクまで戻った 14:05。帰りは、乙原から谷汲(両界山横蔵寺)へ回り 16:30 自宅着

(感想)あたまの中で、「思わぬ雪にワカンはき、苦労したことあったっけ」のワンフレーズを繰り返し歌いながら、登っていきました。

確認  
(リーダー)  
中  
10/03/10  
山  
作成  
(報告者)  
中  
10/03/10  
山

リーダー所見 当然雪はあるものと覚悟して、それなりに装備も担ぎでかけたが、当日にあんなに降るとは、頂上まで行けなくて残念だったが、2 週間後の経ヶ岳偵察のワカン訓練には十分だったと思う。次に春来る時は、月夜谷山荘泊まりで、小津権現と塔ノ倉の2つをやってみたい。

権現にワカン足あとひとり分  
おじさんのつもりはないが  
膝にくる  
沖仙